

1 開催の趣旨

■目的

県では、流域下水道事業から発生する下水汚泥の有効利用やコスト削減を図る観点から、肥料化施設の導入について検討を進めてきたところだが、導入に際して、施設の整備や運営経費、肥料の安定的な利用のほか、市町村との共同処理などの課題が様々あることから、関係する有識者が一堂に会して意見を取りまとめるため開催するもの。

2 検討会の開催経過

- ・開催日：第1回目 令和7年2月14日(金)
第2回目 令和7年5月28日(水)
- ・場 所：宮城県庁行政庁舎15F 企業局会議室
- ・出席者：学識経験者、流域自治体、庁内関係課(全6名)
- ・内 容：事業の背景と現状等について
導入に向けた各種課題について

3 検討会の概要

■主な議論の内容

(1)事業手法

- 導入により維持コスト削減が図られることから、今後事業規模効果の精度を上げていくこと。
 - ・ 計画日最大汚泥量を対象として施設を整備。
 - ・ 事業手法はDBO形式(設計・施工・管理を一括発注)が最有力。
 - ・ メーカーサウンディングの結果から、十分に事業効果がある。
 - ・ コスト以外の事業効果について整理を行う必要がある。
 - ・ 将来的な汚泥量減少に備えた検討を行う必要がある等。

(2)肥料利用

- 肥料の効果や安全性を説明していくなど、利用促進に取り組むこと。
 - ・ 肥料成分を示し、安全性に対する理解をいただく必要あり。
 - ・ 石巻地区では、汚泥肥料利用の余地がある。
 - ・ 水稻以外の肥料利用(花き等)について検討が必要等。

(3)共同処理

- 参加意向を示している9市町の搬出希望を精査するほか、人口減少を踏まえた施設規模とすること。
 - ・ 参加希望をしっかりと押さえることや、参加のタイミングを聞くなど、丁寧な対応が必要。
 - ・ 高塩分汚泥の受け入れは慎重に検討する必要がある等。

4 今後のスケジュール(予定)

- 令和7年 7月中旬 市町ヒアリング(共同処理について)
- 7月29日 現地視察(肥料利用について)
- 8月上旬 農業関係者との意見交換
- 8月中旬 メーカーヒアリング
- 8月28日 第3回有識者検討会(事業実施方針のとりまとめ)

(11月頃 シンポジウム実施予定)